

福井県老人クラブ連

題字/吉川 壽一 書

2017 Vol.150

平成29年1月

発行 一般財団法人 福井県老人クラブ連合会

〒910-0026

福井市光陽2丁目3-22 (福井県社会福祉センター内)

TEL.0776-24-4853 FAX.0776-24-4580

E-mail : fukuirr@yacht.ocn.ne.jp



～のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを～



「憩いの家」を立ち上げました

福井市 旭幸寿会

地区の観音堂内に、「自由で楽しい時間を過ごせる地域の集会所」として昨年10月に立ち上げました。

運営は毎月1回。ワナゲやカラオケ、童謡の合唱、ハーモニカ演奏、手芸・絵画等の展示、おしゃべり会など、楽しい企画を計画中です。

地域の皆さん、特に足腰の弱っている方には、外出の機会として積極的に利用していただくよう呼びかけたいと思っています。

期待されてます!老人クラブ

認知症や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるための「地域の支え合いの体制づくり」が始まっています。それは地域の団体やボランティア、住民も参加して高齢者を「地域全体で支えていく」取り組みです。

私たち老人クラブは、これまでも健康づくりや介護予防活動、高齢者を対象に声かけ、話し相手、サロンといった友愛活動に取り組んできました。これらの活動経験を活かし、地域支え合いの担い手として参画することが求められています。

今こそ老人クラブの出番です!地域の関係機関や団体と連携し、活動を進めていきましょう。

目次

知事・会長あいさつ	P2
第45回 全国老人クラブ大会	P3
第43回 福井県老人クラブ大会	P4
会員増強への取り組み	P6

趣味の作品展	P7
県老連会長杯公式ワナゲ交流大会開催	P8
平成28年度 市町別友愛募金配分状況	P9
各地の活動から	P10
老人クラブ傷害保険のご案内	P12

新年のごあいさつ 福井県知事 西川 一誠



福井県老人クラブ連合会会員の皆様、お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

さて昨年は、県内一丸となった運動が結実し、北陸新幹線の小浜京都ルートが決定しました。そして中部縦貫自動車道はこの春に大野までつながり、新幹線敦賀開業と同じ六年後の全線開通をめざしています。県土が一体となり、私たちの暮らしをさらに豊かにする高速交通の新しい時代がはつきりと見えてきました。

また、子どもたちの学力・体力に加え、県民の幸福についても「日本一」の評価を確立しました。子育てや福祉、働きやすさなど、これまで高めてきた福井の「ふるさと力」を基盤として、スポーツに、文化に、県民一人ひとりの素晴らしい活躍が相次いでいます。

この新しい年、優れたポジションから次なる飛躍に向け、県政を大きくスケールアップしてまいります。そして本年は、マニフェスト『福井ふるさと元気宣言』の折り返しの年でもあります。

都市の再開発や滞在型の観光地づくり、来年に迫った福井国体・障害者スポーツ大会の準備と競技力向上、高齢者が生きがいをもって活躍できる地域づくり、新たなテクノロジーを活かした産業・農林水産業の競争力強化、子どもたちの個性を伸ばす教育、結婚・子育ての応援や若者のＵＩターン促進など、重要政策の実行を加速し、県民が将来に夢と希望を持てる福井をつくります。

老人クラブの会員の皆様におかれましては、社会参加や健康づくり活動に積極的に取り組まれ、地域活動の担い手として、これまで培ってこられた豊富な経験と知識を活かし、地域や社会でますますご活躍されることを期待申し上げます。

この年頭に当たり、福井県老人クラブ連合会のますますのご発展と会員の皆様の健康長寿をお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ 福井県老人クラブ連合会 会長 堀内 英治



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えにいられたこととお慶び申し上げます。日頃より、本会の事業推進にご理解とご協力をいただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

老人クラブのメインテーマは「のぼさう！健康寿命、担おう！地域づくり」です。健康寿命をのぼすには、適度な運動（テクテク）、規則正しい食事（カミカミ）、いつも笑顔（ニコニコ）、感動（ドキドキ、ワクワク）することだと言われています。これらは、すべて老人クラブ活動をとおして得られるものだと思います。老人クラブ活動に積極的に参加し、健康寿命を延ばしましょう。

老人クラブでは、市町が行う新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）において、生活支援の担い手として各種団体と共に参画しようと呼びかけているところです。本県では、「老人家庭相談員」を設置しての見守り活動や友愛募金活動など、全国に先駆けて友愛活動の取り組みを行ってきています。これを土台としてもう一歩進んだ取り組みをいたしましょう。

また、オレオレ詐欺などの高齢消費者被害、高齢運転者が加害者となる交通事故などが大きな社会問題となっています。地域内における啓発、情報提供、見守り、研修などをおしてこれらの被害防止に努めましょう。

少子高齢社会の進展に伴い、地域において高齢者が担う役割への期待が大きくなっています。現在進めている「福井県老人クラブ1万人会員増強運動」を推進し、一人でも多くの仲間と共に手を携えて、地域住民と共に安全・安心な地域づくりの役割を担っていきましょう。

来年、本県において「福井しあわせ元気国体」が開催されます。会員一人ひとりが「する」「みる」「支える」という様々な立場から参画しましょう。

本年も、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

本年も

よろしく

お願いします



顧問	西川 一誠
会長	堀内 英治（福井市）
副会長	竹中 弘（敦賀市）
理事	三嶋 重徳（小浜市）
〃	土屋 順信（大野市）
〃	八十島 幸雄（越前市）
〃	五十嵐 二三男（坂井市）
〃	池上 栄一郎（越前町）
〃	藤本 澄子（鯖江市）
〃	高島 善弘（県社協専務理事）
常務理事	小川 宣夫（県老連事務局長）
監事	西川 征男（福井市）
〃	窪田 義男（鯖江市）
〃	柴崎 静雄（美浜町）
評議員	板谷 悌三（福井市）
〃	戸田 富三（敦賀市）
〃	福田 稔（勝山市）
〃	八木 敬一郎（あわら市）
〃	鈴木 和男（南越前町）
〃	飯田 太和（池田町）
〃	森下 幸一（若狭町）
〃	重久 博子（福井市）
〃	船木 麻央（県長寿福祉課長）

第45回全国老人クラブ大会

～富山県富山市にて開催～

第45回全国老人クラブ大会が、11月9日・10日富山県富山市において全国の老人クラブ会員1,300名の参加のもと開催され、本県からは38名が参加しました。

大会の一日目は

- 第1部会 地域に健康づくり・介護予防活動の輪を広げよう！
- 第2部会 未設置地区にクラブをつくらう！
- 第3部会 演じる活動

の三つの活動交流部会に分かれ、第1・2部会では事例発表を中心に活発な情報・意見交換が行われました。なお、藤本澄子県老連理事が第2部会の座長を務めました。そして、第3部会「演じる活動」では、5団体により伝統芸能や創作ダンスなどのステージ発表が行われ、併せて活動状況なども報告されました。

二日目は、富山市長の森雅志氏の「健康寿命の延伸を目指して」と題した講演に始まり、アトラクションとして地元高校生による「越中五箇山民謡」が披露されたあと、式典では、全国老人クラブ連合会会長表彰、大会宣言の採択が行われ、最後に「青い山脈」を全員で歌い閉幕しました。



第2部会「未設置地区にクラブをつくらう！」

～地域と連携した会員増強運動の展開～「より

(助言者…中京大学教授 野口典子氏)

この部会では、未設置地区へのクラブの新設、解散クラブの復活等により会員増強につながる取り組みを展開している3つの連合会の活動発表がありました。その中で、**老人クラブと市がタイアップして会員増にに取り組んでいる**旨の発表がありましたので一部ご紹介いたします。

「新規クラブ結成で会員数大幅増を目指して」PRとサロン活動を通して」 栃木県小山市老連 ※老人クラブと市がタイアップした取り組み

◆市からの助成を受け、「友愛サロン事業」「シニア健康ウォーキング事業」を実施

老人クラブが高齢者の集いの場、体力増進の場をつくることによって、地域の高齢者同士の絆を深め、生きがいづくりや介護予防へつなげる。さらに、老人クラブがこのような役割を持つことで、地域の担い手として活躍できる。

◆「新規結成奨励金」「若手会員加入奨励金」「会員5名以上増達成奨励金」を交付

◆8月に加入促進強化月間を設け、「老人クラブ結成のお願い」を市長と連合会長との連名で自治会長宛に通知(連名については市長から老人クラブに申し出があった)

◆市広報誌に活動内容の紹介等、老人クラブの記事を掲載

部会の最後に、助言者から「老人クラブは『地域の見守り隊(地域を守る)』として期待されている。若い人々といかに協力して合意してやっていくかが今後の課題となってくる。また、活動のメニューは固定しないで、その地域にあったものを考え、開発していくことが大事等」との助言がありました。

全国老人クラブ連合会 会長表彰受章者

(敬称略)

◇育成功労表彰

藤井 溢美 (前県老連副会長)
小林 豊 (前県老連評議員)

◇優良老人クラブ表彰

伊井第1老人クラブ(あわら市)

◇優良老人クラブ連合会表彰

口名田高齢者クラブ連合会(小浜市)

第43回福井県老人クラブ大会開催

第43回福井県老人クラブ大会が、10月19日越前町の越前陶芸村文化交流会館において、県下17市町連合会の代表約700名の参加のもと盛大に開催されました。

第1部式典は、池上栄一郎越前町老連会長の歓迎のことばに始まり、堀内英治県老連会長が「要介護者や一人暮らし高齢者が増えている中、高齢者が元気で活躍する姿を見せる



ことが大事であり、それは老人クラブの役割でもある。また、老人クラブは見守り活動も行っている。皆で安心安全な地域をつくっていきましょう」と挨拶。



続いて西川知事より14名の方に県老人クラブ育成功労者知事感謝状、堀内会長より育成指導功労者34名と優良クラブ6団体に県老連会長表彰が贈られました。また、活動賞6団体と会員増強運動表彰として会員数10名以上純増のクラブ19団体が表彰されました。

第2部では、福井高専環境都市工学科教授の辻子裕二氏が「克災のための老若男女それぞれの役割」と題して講演、クイズ形式も取り入れた講演で防災について楽しく学びました。この後、地元アトラクションとして園児達による可愛らしくも凛々しい和太鼓や地元老連の踊りが披露され、最後に地域づくりへの参画や2018年の福井国体に向けた宣言を含む6項目の大会宣言が採択され、来年度開催の勝山市での再会を期して閉会となりました。

平成28年度 福井県老人クラブ育成功労者 知事感謝状被贈呈者

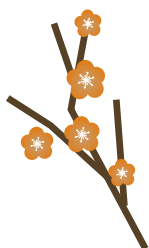
橋本洋子	(福井市)	松裏輝子	(越前市)
南谷弘	(福井市)	山崎昌夫	(坂井市)
藤井美弘	(敦賀市)	齋藤信男	(永平寺町)
松山善昭	(小浜市)	安川孝信	(池田町)
奥村榮	(大野市)	大村務正	(越前町)
柴田正男	(鯖江市)	幸子	(美浜町)
小林豊	(あわら市)	山中幸子	(おおい町)

平成28年度 福井県老人クラブ連合会 会長表彰

野村昭一	(福井市)	福嶋賢二	(鯖江市)
山口茂	(福井市)	丸田須美子	(あわら市)
刃田信	(福井市)	山本雅一	(あわら市)
柳澤数一	(福井市)	武安昭	(越前市)
藤田寿々子	(福井市)	松村初美	(越前市)
内田富美子	(福井市)	嶋田亨	(越前市)
宮崎圭子	(福井市)	今田榮	(坂井市)
藤村信夫	(敦賀市)	五十嵐二男	(坂井市)
眞杉繁	(敦賀市)	廣野由利雄	(坂井市)
柴田文二	(敦賀市)	宇田務	(永平寺町)
山口喜三郎	(小浜市)	南原好	(池田町)
溝口阿希夫	(小浜市)	遠矢東保	(南越前町)
島田一成	(大野市)	後藤貞洲	(越前町)
石田欽一	(大野市)	原智津榮	(美浜町)
福田稔	(鯖江市)	瑞生	(おおい町)
三上利光	(鯖江市)		
前田年	(鯖江市)		

優良老人クラブ表彰

西地区老人クラブ連合会	(敦賀市)
中名田老人クラブ連合会	(小浜市)
舟津寿会	(あわら市)
高松地区老人クラブ連合会	(坂井市)
西田中福寿会	(越前町)
自睦会	(おおい町)





平成28年度 活動賞

◆全国老人クラブ連合会会長表彰

東郷地区老人クラブ連合会 (敦賀市)
永平寺町健康長寿クラブ連合会 (永平寺町)

◆福井県老人クラブ連合会会長表彰

清水地区寿クラブ連合会 (福井市)
坪江第7老人クラブ (あわら市)
服間地区シニアクラブ連合会 (越前市)
大鳥羽老人クラブ (若狭町)

会員増強運動表彰

足羽友愛の会 (福井市)
竹生・清水・和田寿クラブ (福井市)
江尻ヶ丘町友誼クラブ (福井市)
高塚高齢者クラブ (小浜市)
屋形町寿クラブ (鯖江市)
新横江高年会 (鯖江市)
老寿会 (鯖江市)
磯部町老人クラブ (鯖江市)
北潟東第2福寿会 (あわら市)
白山第1クラブ (越前市)
竹田上老人クラブ (坂井市)
米ヶ脇友和会 (坂井市)
西部第1クラブ (坂井市)
和老第八老人クラブ (坂井市)
芝原元気クラブ (永平寺町)
大樟クラブ (越前町)
興道寺老人クラブ (美浜町)
青郷第3クラブ (高浜町)
山内老人クラブ (若狭町)

◆100万人会員増強運動特別賞
(全国老人クラブ連合会会長表彰)

新横江高年会 (鯖江市)
米ヶ脇友和会 (坂井市)

大会宣言

老人クラブは仲間づくりを基本に、生きがいづくり、健康づくり、地域づくりをめざして幅広い活動に取り組んできました。

高齢者が増え続けるわが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面するなかで、いま各市町では、新地域支援事業（介護予防・日常生活総合支援事業）に取り組み、地域で高齢者を支える体制の整備が急がれています。

私たち老人クラブは、これまでの活動経験をもとに、高齢者の暮らしを支えるため、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、あたたかな地域づくり活動への参画をめざしています。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の中間年を迎え、これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治会と連携した取り組みを行うなど、運動の強化を図る必要があります。

平成30年には、本県において「福井しあわせ元気国体」が開催されます。スポーツの感動を広め、未来へつなげる国体を実現するために、県民が一体となった気運の醸成が求められています。

「人と技 海土里（みどり）織りなす 快適なまち」、ここ越前町に集う老人クラブ代表者は、「のぼそう健康寿命、担おう地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、福井県老人クラブ「1万人会員増強運動」の推進
- 一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援活動」への参画
- 一、健康寿命をのばす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立
- 一、国体に向けた「宣言」の実践

(平成27年6月16日 会長会議において採択)

平成28年10月19日

第43回 福井県老人クラブ大会



克災のための 老若男女それぞれの役割

辻子裕二氏講演より

- 巨大地震は13年に1回のペースで起きている。
「いつか起きるかもしれない」ではなく、「必ず起きる」ことを前提に備えをしておくことが大事。
- 自分がケガをすると助けるために人手が必要になる。自身がケガをしないこと、元気でいることが一番の防災になる。
- 災害時は地域に根ざした元気な高齢者がキーパーソンに成り得る。
- 若い世代に災害の歴史や経験を伝えることも高齢者の役割のひとつである。

<防災一口メモ>

- ◆生命を維持するために1日に必要な水の量は？

☛ 2ℓ

- ◆スーパーで買い物中に地震が発生したら？

☛少しでも広い安全なスペースに移動する
この時、「買い物カゴ」が防災ずきんの代わりになる

- ◆エレベーター乗車中に地震が発生したら？

☛全ての行き先階のボタンを押し、最初に停止した階で降りる。

地震や火災が発生したらエレベーターは使用せず、必ず階段で避難する

- ◆日頃から「笛」を持ち歩く

☛助けを呼ぶときに役に立つ、また、常に身につけることで防災の意識づけにもなる



仲間を増やそう！ ～会員増強運動の取り組み～

県老連では、5年間で1万人の会員増を目標に、平成26年度より「1万人会員増強運動」に取り組んでいます。各地の取り組みや成功事例をいくつか紹介します。

春江さわやかクラブ連合会（坂井市）

「新設クラブとして再加入」

●経緯

元々3つの集落で1つの単位クラブを形成していたが、そのうちの1つの集落がさらに2分化し、その2分化したうちの1つが連合会を脱会して新たに独立したクラブ（Aクラブ）を立ち上げ活動していた。

3年間にわたりAクラブに交渉し続けた結果、28年度新設クラブ（会員数64名）として連合会に再加入することとなった。

（ポイント）

- 交渉については、クラブ内に人脈をつくり、コンタクトを頻繁にとって話し合いの機会を重ねた。
- Aクラブには若手会員が多く、地区（校区）老連とは年齢層や活動メニューも異なる部分があった。そのため、活動はAクラブ独自の活動を中心としているが、地域の組織との連携も保ちつつ活動している。

●連合会加入のメリット

- ・市の委託事業等助成金が受けられ、今までできなかった部門の活動が出来るようになった。
- ・スポーツ大会等に参加することで、他地区との交流が図られる。
- ・情報が得られる。

※その他、春江さわやかクラブ連合会では、平日参加できない若手高齢者が参加しやすいように、一部の事業を休日に行うなどして若手会員の加入につなげるようにしている。

新横江高年会（鯖江市）

[27年度 11名純増]

会長はじめ役員が、地区内で開催されるスポーツ競技大会や高齢者が集まるカラオケ喫茶に出向き、老人クラブのスポーツ大会やカラオケサークル等の活動内容や魅力をPRし勧誘を行った。その他、趣味を通じての勧誘、口コミによるPRを行った。

米ヶ脇友和会（坂井市）

[27年度 14名純増]

単位クラブを7班に分け、県老連が設定した「老人クラブ加入促進月間（2～3月）」の期間中、募集日を各班1週間設定し、特に加入する可能性の高い対象者5～6名を選定し、班長がチラシを持参して重点的に勧誘活動を行った。

また、会の行事や活動の充実を図り、老人クラブを認識してもらうために、区民へのPRも積極的に行った。



ふくい健康長寿祭2016「趣味の作品展」開催

「ふくい健康長寿祭2016」が9月24日小浜市・若狭町を会場に開催され、生きがい関連イベントとして「趣味の作品展」を本会主管により開催しました。

会場となった小浜市中央公民館のホールには、県内の老連より出展された53点の力作が並びました。出展者の年齢層も60歳代から90歳代と幅広く、会場を訪れた皆さんも、年齢を感じさせない繊細かつ力強い作品に驚きの声を上げていました。来年度も、皆様の日頃手がけた力作をお待ちしています。

なお、今年度は審査員により大会長賞1名を、来場者の投票により県老連会長賞5名を決定いたしました。

【ふくい健康長寿祭大会長賞】

内 藤 正 彦 (小浜市遠敷) 彫刻「フクロウ」



【福井県老人クラブ連合会長賞】

- | | | |
|-----|-----------------|-----------------|
| 第1位 | 山口 貞 夫 (小浜市遠敷) | 写真「勢浜夕景」 |
| 第2位 | 平田 寿 枝 (小浜市松永) | 工芸「創作人形」 |
| 第3位 | 松尾 茂 嘉 (小浜市宮川) | 額「文化刺繍」 |
| 第4位 | 泉 本 貞 (小浜市内外海) | 絵画「寒修行」 |
| 第5位 | 榎谷 紀久枝 (南越前町南条) | パッチワーク「小鳥のさえずり」 |



お 知 ら せ

高齢ドライバーによる交通事故が多発しています！

※転載・引用：日本損害保険協会より

高齢ドライバーの交通事故のうち、34.8%は安全不確認が原因です

こんな事故に注意が必要です



信号のない交差点での
出会い頭事故



車線変更時の前方走行車との
接触事故



右折時の対向車との
接触事故



構内でのバック時の
物損事故

- 見通しが悪ければ、徐行。一時停止の交差点では、しっかり停止！
- 右折は急がず慎重に！
- 左折は後方の確認も大切！

※油断は禁物、しっかり前を見て的確な運転操作に努め、体調の悪いときは運転を控えましょう！

※9月29日に予定されていた「第17回福井県知事杯高齢者グラウンド・ゴルフ大会」は、前日からの雨で中止になりました。

～輪で 話と 和を～

県老連会長杯公式ワナゲ交流大会開催

県老連会長杯公式ワナゲ交流大会が、11月18日福井市の健康の森けんこうスポーツセンターにおいて開催され、17市町から選抜された302名の選手が集まり熱戦が繰り広げられました。

競技は、午前には個人戦、午後には各市町老連選抜10名による団体戦と団体戦に出場しない選手による交流戦を行い、競技方法はいずれも単独投輪方式3ゲームの合計点で順位を決定しました。

選手の皆さんは、会場に到着するや否や勇んで練習を開始。試合中は応援団が見守る中、真剣な眼差しで一投を投じていました。パーフェクト達成者は15名。会場のあちこちで拍手と歓声が沸き、緊張感漂う中にも和気藹々としたムードで大会はおおいに盛り上がりました。

今回初参加にしてパーフェクトを達成した公式ワナゲ初心者の方もおり、競技志向の方も初心者の方も多くの方が楽しめる大会となりました。

結果は次のとおりです。



【団体戦】

優勝 越前町
準優勝 大野市
第3位 あわら市

【個人戦】

優勝	青山 高四 (越前町)	690点
準優勝	橋本 和敏 (大野市)	690点
第3位	赤田 洋 (南越前町)	660点

※同点の場合は、年齢の高い方を上位とする

【交流戦】 (1位)

60～69歳 男子	1位	藪田 球次郎	女子	1位	近藤 すみれ
70～74歳 男子	1位	朝日向 三郎	女子	1位	長田 清子
75～79歳 男子	1位	五十嵐 俊男	女子	1位	吉村 あき
80～84歳 男子	1位	近藤 弥作	女子	1位	石塚 幸枝
85歳以上 男子	1位	高尾 茂市	女子	1位	東 淑子



越前市の増田喜代治さん。御年91歳。今大会の最高齢プレーヤーです。

ワナゲを始めて3年目。大会へは2回目の出場となります。

元気の秘訣は「早寝早起き、三食しっかり食べる、畑や山仕事」で、体重は若い頃から変わっていないとのこと。山ではチェーンソーも扱い、ドライブやSMボウリングと多趣味でアクティブな増田さん。ますますのご活躍を期待します。

元気一番！



「公式ワナゲ」・・・

133gのリングを2m離れた位置から投げる公式ワナゲには、①**バランス感覚** ②**調整力** ③**筋力を養う** といった運動効果があり、「考えて投げる」ゲームは頭の柔軟な働きを育てます。

また、年齢に関係なく、冬場もできるニュースポーツです。皆さんも始めてみませんか？





友愛募金にご協力ありがとうございました

昭和48年から始められた友愛募金運動も昨今の厳しい経済状況の中でありながら、会員皆様の温かい心と、会長様他関係の皆様のご理解、ご協力をいただき、平成28年度も9,721,613円と多くの浄財が寄せられました。

厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきましたこの募金は、委員会にお諮りし、536名の在宅療養している老友および、その介護にあたるご家族へのお見舞い品や火災などの災害見舞金のほか、地元市町老連が行う友愛活動事業費にあてさせていただいております。

なお、閉じこもり防止や仲間づくりを目的とした老連独自のふれあいサロン活動の充実に、今年度も10%の還元を地元市町老連に実施しましたので、積極的な取り組みをよろしくお願い致します。

御見舞品

在宅療養高齢者・
介護者の御見舞品ペアセット

在宅療養高齢者

タオル2枚・ひざ掛け・ガーゼハンカチ1枚

介護者

ウエットティッシュ（詰替え用付）・入浴剤

御見舞品を受け取られたご家族からは、皆様の活動が心の支えになっていると御礼の電話や手紙が届いています。

平成28年度 市町別友愛募金配分状況

	市町名	会員数 (人)	総額 100% (円)	県老連納入額 40% (円)	市町活動費 (還元金) 50% (円)	ふれあい活動資金 (還元金) 10% (円)
1	福井市	9,334	981,776	392,710	490,888	98,178
2	敦賀市	4,876	775,766	310,307	387,883	77,576
3	小浜市	3,460	537,064	214,826	268,532	53,706
4	大野市	3,459	657,264	262,906	328,632	65,726
5	勝山市	1,807	351,910	140,764	175,955	35,191
6	鯖江市	3,853	708,300	283,320	354,150	70,830
7	あわら市	3,368	508,760	203,504	254,380	50,876
8	越前市	6,880	1,264,147	505,658	632,074	126,415
9	坂井市	4,929	903,150	361,260	451,575	90,315
10	永平寺町	1,839	345,800	138,320	172,900	34,580
11	池田町	544	118,444	47,400	59,194	11,850
12	南越前町	1,824	351,761	140,704	175,881	35,176
13	越前町	3,601	656,100	262,440	328,050	65,610
14	美浜町	1,943	326,200	130,480	163,100	32,620
15	高浜町	2,488	383,010	153,204	191,505	38,301
16	おおい町	1,352	248,910	99,564	124,455	24,891
17	若狭町	3,077	603,251	241,300	301,626	60,325
	計	58,634	9,721,613	3,888,667	4,860,780	972,166

「熊本地震災害」 救援拠金へのご協力ありがとうございました

4月に発生しました熊本地震について、多くの救援拠金をお寄せ頂きありがとうございました。前回、締め切らせて頂いた後にも、追加の拠金を頂きましたので下記のとおりご報告致します。

【第2次】 南越前町 17,895円 美浜町 4,784円

<第1次>5,280,746円+<第2次>22,679円=<合計>5,303,425円

※第1次分については、福井県老連 第149号（平成28年9月号）に市町毎の明細を掲載しています。

各地の活動から

「健康長寿日記」で認知症予防

永平寺町健康長寿クラブ連合会

認知症予防、健康長寿のために、「書くこと」（脳の活動の衰えを防ぎ、活性化させる）に目をつけ、皆が継続して気軽に実践できる取り組みとして「健康長寿日記」を

作成し、平成28年1月1日より「健康長寿日記つけ運動」に取り組んでいます。

この日記は3段書きで3年間記入できるもので、上段を見ると前年や前々年の同月日に書いた内容がわかるようになっていきます。また、狭

すぎず、大きすぎず、高齢者が書きやすいようにスペースなども考慮して作成しました。

総会時に、「日記つけ運動」の実践発表を行ったところ、「記憶力減退防止になっている」「書くことが毎日楽しく、頭の中が整理されるようになった」等好評で、今後は、毎日欠かさずに日記



をつけた人の表彰なども計画しています。

昨年末、新たに平成29年版を作成しました。多くの方に日記を書くこと、また過去に書いた日記を読み返すことを推奨し、会員のみならず地域全体の健康長寿推進、認知症予防に貢献していきたいと思っています。

「二口アドバイス」で 安心・安全のまちづくり

敦賀市東郷地区老人クラブ連合会

高齢者の交通事故を防止するために、老人クラブ会員の「高齢者交通安全リーダー」4名により、老人クラブのイベント等で集まった会員を対象に交通安全の「一口アドバイス」を実施しています。この活動は現在まで10年間続けています。話す時間は毎回15分程ですが、最近では、交通事故防止に加え、被害が拡大し

ている高齢消費者被害に関する内容も取り入れ、注意を呼びかけています。イベントに参加できない方々には、家庭訪問をして個々に指導を行っています。

また、各地区のふれあいサロンにも出向き、会員のみなら



ず地域の高齢者への啓発に努めています。こうした活動の甲斐あってか、平成20年より地区の高齢者の交通死亡事故はゼロとなっており、地域の方々も一口アドバイスに、より一層耳を傾けてくれるようになりました。

「久々子にわが一座」 笑顔のまちづくり

美浜町久々子老人クラブ

地域の夏祭り「弁天祭」に、にわか集う人達で、にわか準備をして出演したことがきっかけとなり、「にわか一座」を立ち上げました。活動を始めて5年になりますが、現在メンバーは15名程で、町老連のアトラクションや町内の敬老会、施設訪問などで演じています。

衣装は手づくりです。古布をリメイクして、演目に合う衣装を皆で考え、衣装合わせをしながら作ります。宝塚ソングやAKBなど、地域の皆さんと楽しい演目を創造しながら、歌や踊り、おしゃべりに熱中する日々です。

「健康で明るく仲良く」をモットーに、自分達





も楽しみながら地域の中に「笑顔」の輪を広げられたらと思っています。

大人の遠足

越前市いきいきシニアクラブ連合会

会員増強運動の一環として、年3回、春、夏、秋に「大人の遠足」を実施しています。春は「桜を観る会」、夏は「山登り」、そして秋は「紅葉狩り」です。

「桜を観る会」は高年層、「山登り」は若手層、「紅葉狩り」は中高年層と、それぞれの年齢層をターゲットに企画しました。が、「山登り」でも、登頂コースと麓でのハイキングコースを設定するなど、どの年齢層でも参加しやすいようになっていきます。会場では、市老連のサークル活動の発表で交流を行うこともあります。

参加者はそれぞれ80名程度ですが、バスが家のすぐ近くまで送迎してくれるので、参加しやすく、楽しいと好評です。会員外の方の参加はもちろん、時には他市町から「参加したい」との声も聞かれます。



給食ボランティアを 通じた見守り活動

おい町老人クラブ連合会

社協が在宅支援サービス事業の一環として行っている「給食サービス」の調理と配食ボランティアを、福祉推進員、民生児童委員、婦人福祉協議会等他団体と協働し、ひとり暮らし高齢者の見守り活動を兼ね実施しています。

15年程前に、老人クラブから社協に積極的に参加を申し出て始まった活動ですが、現在、約20名の会員が、調理ボランティアとして年に5回、配食ボランティアとしては毎月4回程参加をしています。配食ボランティアには男性会員もあり、冬の雪かき等ちょっとした困りごとにも対応しています。利用者の中には、毎回このサービスを心待ちにし、お弁当だけでなく配食ボランティアとの会話を楽しみにしておられる方もたくさんいます。

また、調理ボランティアの際には、反省会を兼ねて情報交換やおしゃべりの場を設けており、会員同士の楽しい交流の場にもなっています。



輝きシニア

「ヨサコイ宮崎」で健康づくり

越前町宮崎地区老連の女性部有志でつくる「ヨサコイ宮崎クラブ」の代表を務められています。「ヨサコイ宮崎」は地区の伝統ある「宮崎音頭」をアレンジし、「よさこい」の踊りを取り入れたものです。手に「鳴子（なるこ）」を持ち、ややテンポの速い軽快な曲に合わせて踊るもので、音に合わせて踊るため、緊張感もあり、脳や筋力を鍛え体力づくりに役立つそうです。

「人生80歳過ぎてからが華」と話す向当さんは50年間医者知らずとのこと。練習は月1回、平均年齢77歳の現メンバー13名と楽しく元気に踊っており、施設訪問や町・地域のイベントで披露することも。「若い時からの健康づくりが大事。自分たちが元気に踊る姿を見て皆が頑張ろうと思ってくれたら」と話されていました。



越前町宮崎地区老連
向当みつ子さん（89歳）



悪質業者の“あの手・この手”に乗らないで!!

平成27年度、消費生活センターに寄せられた相談件数3,338件の内、約40%が60歳以上の方からのご相談でした。皆で声をかけ合い、知識を増やし、「被害に合わない・合わせない地域」を作りましょう。

注目情報 架空請求が再び増加の気配！ さらに二次被害も！？

平成22年度に激減した架空請求が再び増加傾向にあります。

高齢者の方もスマートフォンなどを利用するようになり、心当たりのない料金請求がメールで届くというトラブルが多く発生しています。

さらに、「トラブルを解決してあげます」というサイトに連絡してしまい、さらに料金を請求されるといった二次被害も出てきていますのでご注意ください。

【相談事例1】

スマートフォンに見知らぬ業者から「有料サイトの利用料が未納となっています。連絡がない場合は、法的措置を取らせていただきます。」とメールがあった。業者に電話したら強い口調で脅され、70万円を支払った。後日業者から再び電話があり、「他にも登録している。あと100万円支払えばこれで最後。」と請求を受けた。

【相談事例2】

スマートフォンでアダルトサイトを見ていたら、突然「登録完了。99,800円お支払いください。」と表示が出た。「誤操作の方は連絡ください。」という連絡先に電話したら、「登録が完了しているので、支払わないと退会できない。」と言われた。慌ててインターネットで「トラブル解決窓口」を検索して見つけた業者に相談したところ、相談料として5万円を支払うよう言われた。

- 心当たりのない不審なメールは無視しましょう。送付者が明らかなもの以外は開封しない・相手に連絡を取らないことが大切です。
- まったく身に覚えのない請求にお金を支払う必要はありません。相手の脅しにひるまず無視してください。いったんお金を支払ってしまうと、取り戻すことは困難です。
- インターネット広告の「被害回復します」「無料相談受付します」につられて相談すると高額な費用を請求されることがあります。あわてないで、県や市町の消費生活センターに相談してください。

「おかしいな？」
「困ったな！」
と思ったら

福井県消費生活センター ☎ (0776) 22-1102
福井県嶺南消費生活センター ☎ (0770) 52-7830
消費者ホットライン ☎ 188 (イヤヤ)

お近くの消費者相談窓口につながります。



老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

① 傷害保険 総合型

② 傷害保険 活動型

自分がケガをしてしまった時の保険です。

対象：老人クラブ会員なら、年齢制限もなく誰でも加入できます。(1人1口加入)

補償範囲：総合型と活動型の2種類

掛金：(総合型) お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円
(活動型) お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

お支払いする保険金：死亡・後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ)／入院保険金／手術保険金／通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

中途加入 所属の老人クラブを通して、1年中いつでも加入いただけます。

傷害保険
加入者特典

ディリーサポート
電話相談

●介護関連サービス ⇒ 介護保険制度、ケアプラン等の介護全般に関わる相談
●生活支援関連サービス ⇒ 法律、税務、社会保険、暮らしのご相談

*相談先の電話番号は「見守りメモ」(旧「加入者カード」)に記載されています。

クラブの全会員加入
が条件です。

③ 老人クラブ活動専用 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。

補償範囲：○老人クラブ活動中の対人・対物(損壊)の損害補償(自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外)
○管理下財物の盗難・紛失等
○初期対応費用・訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)付帯
但し、往復通上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

掛金：クラブの全会員数×100円【申込クラブの全会員数が30名未満の場合は、最低引受保険料3,000円を払いください。】

支払限度額：1億円 ※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。

保険期間：毎年10月1日(午後4時)～翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償保険専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

中途加入

「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」が可能です。
「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の払込みで翌月1日からの加入となります。
但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。
・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。



公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

加入申込書等、
資料請求先

◆最寄りの市町村老人クラブ連合会に常備しています。
◆不足の場合は市町村老連を通じて右記までご請求ください。

専用FAX 03-3597-8767

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 老人クラブ傷害保険 検索 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769 (引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

16-T14038 平成28年4月作成 ③